

燃料電池フォークリフト用充填装置と 水素製造触媒装置の開発

事業化リーダー：(株)広島 國枝洋尚

研究リーダー：国立大学法人名古屋大学 教授 田川智彦

参画機関：明治電機工業(株)、三浦電気(株)、KMテクニカ(株)

国立研究開発法人物質・材料研究機構、
名古屋市工業研究所、あいち産業科学技術総合センター

背景・課題

燃料電池フォークリフトは実用化段階となり普及が期待されているが、水素供給設備が普及していないことが課題である。燃料電池自動車とは仕様が異なるため、同設備にて燃料電池フォークリフトへの充填は出来ない。

そこで、今後需要が拡大する燃料電池フォークリフト用充填装置を、低コストで利便性や安全性を向上させた、事業所内向けの水素充填装置を開発する。

水素供給は水素ボンベからも可能とし、今後多様化する水素供給方法に追従するため、新触媒の開発も同時に行い、それにて精製された水素も供給可能な設備とする。

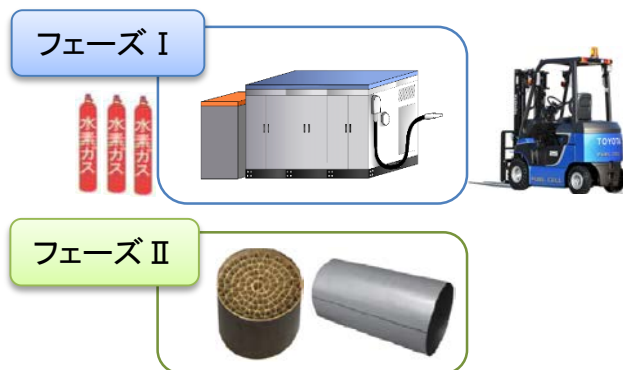
開発内容・目標

<フェーズⅠ>

燃料電池フォークリフト用
充填装置のユニット開発

<フェーズⅡ>

水素製造触媒装置の開発



- ➡
- ・燃料電池フォークリフト用充填装置の実証
 - ・水素製造触媒の研究開発

県内産業への波及

高性能で安全性の高い「燃料電池フォークリフト用充填装置」を安価に製造販売することで、燃料電池普及の課題を解決し水素社会を促進させる。充填装置製造や触媒加工を愛知県内企業と連携する事により、県内中小企業の水素社会適応能力を向上させ、本事業を基に水素社会参加への一步を踏み出し、県内産業に水素社会促進の波及を促す。